

b 学校教育目標（方針）

校訓「愛と誠」を根幹に据え、創立107年の歴史の中で築き上げられた良き伝統と地域の支援を継承し、学びたいことを学べる魅力にあふれた学校づくりを推進することによって、社会が大きく変化し予測困難な問題が生じる時代においても夢や志を抱き”元氣兵庫へ”未来を切り拓く豊かな人材となりうる、「自立した学習者」の育成を行う。

c 生徒の実態

多くの生徒たちは素朴で明るく、日々楽しく学校生活を送っている。しかし、将来自立した社会人となるための基礎力（基礎学力や学ぶ意欲、規範意識と公共心、思考し積極的に物事に取組む姿勢、自己有用観を持って協働する力など）に欠如する面が多くみられる。また、生徒たちの多くはこれまで成功体験が少なく、そのことが消極的な行動を招き、様々な面で経験不足に繋がっている。結果、将来への目的、目標を持ち得ていない。そうしたことを総合的に判断すると最も必要としているのは、自己を理解し管理する力から始め、他者や社会とかがわかる力としてのコミュニケーション能力を身につけ、課題に対応し解決できる力を高校生基礎力として身につける必要があると考えられる。

d 「社会人基礎力育成カリキュラム」指導目標

教科「公共」を創設し、道徳教育、就業体験を核にしたキャリア教育、その他今日的な課題に対応した教育の3つを柱にした教育課程を実施することにより、高校生に自立と共生の能力を兼ね備えた社会人としての基礎を培う。

e 研究成果の指標

<ul style="list-style-type: none"> ・「自分発見 i-チェック」 ・自尊感情尺度 ・高校生規範意識調査 ・思考と行動特性分析ツール「STEP」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニケーション能力自己評価」の数値増加 ・生徒満足度の増加・インターンシップ評価票（自己・外部）・プレゼンテーション評価票 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間での転退学者の減少 ・単位不認定者の減少 ・検定、資格試験の受検・合格者の増加
--	--	---

f 生徒に身に付けさせたい力

他者との関係性をつくる力（コミュニケーション能力）	グループによる取組の中で、自己の特性を生かしながら、他者と協力して役割を果たす力	自分の在り方、生き方について考え、自己の将来について具体的な展望をもつ力	共通の目標に向け、チームで協働し、現実を把握し、課題を発見し、情報を収集し、それらを総合して創造する力
---------------------------	--	--------------------------------------	---

g 評価の観点

<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に他者との良好な関係をつくろうと努力したか。 ・異なる意見や他者の考えを受入れ、尊重し理解しようとしたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者とのかかわりの中で、自己の特性を理解し、協働することができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の在り方、生き方について考える姿勢が身についたか。 ・体験や見学、講演等を通して自己理解や職業理解を深め、自己の進路について主体的に考えたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画立案やプレゼンテーション等の活動を通して、論理的思考力が身についたか。 ・課題解決に向かって、具体的なプランを考え、行動したか。
--	---	---	--

h 各学年（年次）の指導目標

1年次	2年次	3年次
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の基礎である「自立と共生の能力」として、コミュニケーション能力（他者との関係性をつくる能力）の育成を中心に、自己理解・他者理解を進め、基本的な生活習慣の確立や、規範意識の育成に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の基礎である「自立と共生の能力」として、コミュニケーション能力（他者との関係性をつくる能力）の育成を中心に、自己理解・他者理解を深め、長期就業体験やボランティア体験を通して、社会において自分の果たすべき役割を自覚し、職業・勤労に対する理解・認識を深めさせる。また、社会規範やマナー等の必要性や意義についても、就業体験等の体験を通して理解を深めるよう取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人の基礎である「自立と共生の能力」として、コミュニケーション能力（他者との関係性をつくる能力）の育成を中心に、グループによる企画・商品開発等の課題解決に向けた取組の中で地域との連携や、実社会を模したビジネス体験を通して、主体的に判断し、互いに協力し、よりよく問題を解決する資質や能力の育成に取り組む。

i 体験活動の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・職業人インタビュー・一日ボランティア体験 ・アサーショントレーニング・プログラムづくり（中学校での実践） 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期インターンシップ（3～5日間） ・ライフプランニングづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・「すーく・上高」（生徒主体による企画・商品開発・販売・接客・経理までを体験学習する）
--	---	---

j 言語活動の内容

<ul style="list-style-type: none"> ・1分間スピーチ ・インタビュー先との交渉 ・体験発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ先との交渉 ・体験発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人との直接交渉 ・課題解決成果のプレゼンテーション
---	---	--

k その他の時間における特筆すべき指導

1年次	2年次	3年次
<ul style="list-style-type: none"> ・LHRにおける道徳授業 ・公民科「現代社会」、家庭科「家庭基礎」での消費者教育、法教育、税や金融教育等 	<ul style="list-style-type: none"> ・LHRにおける道徳授業 ・特設授業での法教育、命の授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス体験 ・本格的なプレゼン能力の修得